再評価項目調書

| | 再記 | 平価実施要件 | ○ 事業採択後(年) ● 再評価後(5年) ○ その他() | | | | | | | | | |
|---------|--------------|----------------------------|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | 事 業 名 | 木屋川ダム再開発事業 | | | | | | | | | |
| | | 事 業 場 所 | 下関市豐田町大字大河内 | | | | | | | | | |
| | | 事業主体 | 山口県 | | | | | | | | | |
| | | 事業期間 | 《前回評価 令和 2 年 時 》 平成 21 年度 ~ 令和 21 年度 《令和 21 年度》 (西暦 2009 年度 ~ 西暦 2039 年度 《西暦 2039 年度》) | | | | | | | | | |
| | | 総事業費(内用地補償費) | 《 40,000 百万円》 既投資額 3,388 百万円 進捗率 8 % (7,270 百万円) (内用地補償費) (0 百万円) (用地補償費) (0 %) | | | | | | | | | |
| 1 事業概要 | | 事業目的 | 木屋川は、その源を長門市俵山の草添山に発し、既設の木屋川ダムの貯水池である豊田湖を経て、豊田盆地、田部盆地を大きく蛇行し、稲見川、日野川、田部川、貞恒川等と合流しながら、下関市小月の周防灘に注ぐ、流域面積299.8 k m²、幹川流路延長43.7 k mの二級河川である。 木屋川流域では、昭和30年に既設ダムが完成し、下流沿川地域の浸水被害の軽減に一定の役割を担っているが、昭和34年の出水以降、たびたび下流域で浸水被害が発生している。近年では、日野川合流点から下流において戦後最大規模の出水となった平成22年の7月豪雨において、甚大な浸水被害が発生した。また、平成6年や14年には、渇水被害が発生している。これらのことから、木屋川の「浸水被害の軽減」、「流水の正常な機能の維持」を目的として、既設の木屋川ダムを嵩上げする。 | | | | | | | | | |
| | | 事業内容 | 《ダム嵩上げ》形 式:重力式コンクリートダム 堤 高:51m(41m) 堤 頂 長:237m(174.3m) 総貯水容量:38,350千m ³ (21,750千m ³) ※()は既設ダム 集 水 面 積:84.1km ² | | | | | | | | | |
| | | 事業効果 | (1)浸水被害の軽減 再開発後の木屋川ダムの洪水調節により、治水基準点(大野地点)における1/70確率 規模の洪水1,890m ³ /sを1,590m ³ /sに低減するなど、ダム下流域の浸水被害の軽減を 図る。 (2)流水の正常な機能の維持 ダム下流の既得用水の安定取水、動植物の生息・生育環境の保全、河川景観の保持等に 必要な流量として、利水基準点(大野地点)において概ね1m ³ /sを確保する。 | | | | | | | | | |
| 2再評価の視点 | (1)社会経済情勢の変化 | 社会経済情勢 の変化に伴う 必要性の変化 | 浸水想定区域に関係する人口、世帯数は前回評価時と比べ、同水準であるため、治水対策の必要性は依然として高い。 【浸水想定区域に関する状況変化(住民基本台帳)】 《豊田地区ほか》 〇人 ロ:0.92倍(14,640/15,857人) < R7/R2 > 〇世帯数:0.99倍(7,374/7,459世帯) < R7/R2 > 《参考:県全体》 〇人 ロ:0.94倍(1,267/1,345千人) < R7/R2 > 〇世帯数:0.99倍(593/600千世帯) < R7/R2 > | | | | | | | | | |
| | | 関係市町及び 地 元 の 意 向 | 当事業は、学識経験者、地域住民代表者、河川利用者の代表者、関係地方公共団体の長から構成される「木屋川水系川づくり検討委員会」で了承されている。 また、下関市及び長門市からは、当事業の実施に係る要望書が提出されており、その推進にあたっては、水没地区の関係者で構成されるダム事業対策協議会より同意を得て、関係者へ定期的な説明を行いながら事業を進めている。 これまでの度重なる浸水被害や渇水被害を受け、当事業に対する地域住民からの要望は強い。 | | | | | | | | | |

| 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | | | | | | | | (24 F | · - 5 E m / | | | |
|---|----|-----------------|-------------------|--|--|-------------|-------------|-------------------|-------------|---------------------|------------|------------|
| 2 | | | | | マム 子が頂日 | 前同 | | | (· 日/J円/ | 1 | | |
| 2 日本語 2 | |)事業の投資効 | | | | | | | 備 孝 | | | |
| 14-07 13-215 12-215 | | | | | 工体项目 | | | 建車業 | m 5 | | | 評価 |
| ### 1/23 1/ | | | | | ①一鉛資産被需軽減便益 | | | | | | | |
| 日本 | | | | | | | | | | | | |
| 全元 1.1378 1.108 | | | | | 益 2011+*********************************** | | | | | • | | |
| 2 | | | | | 3) | | | | | • | | |
| 1 | | | | | | | | | | - | | |
| 要用対効果 分析等 | | | | | | | | | | | | |
| 世 | | | | | © 444 to 600 TO TO | | | | | - | | |
| 型用対効果 対応 対応 対応 対応 対応 対応 対応 対 | | | | | ./13 | 102 | 410 | 410 | | | | |
| 接受 分析等 | | | | | 総費田 | 25.676 | 30.644 | 25.709 | | 1 | | |
| 図 | | | | 1 | | | | | | | | |
| □ 東 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | | | | _ | | | | | # 1 + A=1e2 | 1 | | В |
| 東東 | | | | | | は、昇出しに各立 | +次の個を割51率を月 | 用いて現任価値に換り | 早しに古計額 | Į. | | |
| 「治水経済開設マニュアル(業)」令和6年4月 国土交通省水管理・国土保全局 (①・破資機・不動理・原金・ (①・破資機・不動理・原金・ (② (公共・木施設等・被害・経験により軽減される家庭、事務所、農漁家 (③ (公共・木施設等被害軽減便益・整備により軽減される公共土木施設等 (④ (② (④ (② (○ (○ (○ (○ (○ (○ (○ (○ (○ (○ (○ (○ (○ | | | | 【費用対効果 | 分析手法】 | | | | | | | C |
| ①一般改憲被馬軽減便益・整備により軽減される家屋、事務所、農漁家 の資産被害 ②農作物院書館減極益・整備により軽減される家屋、事務所、農漁家 の資産被害 ②企業作物院書館減極量・整備により軽減される最佳が被害額 ③公共土木施設等 (道路、歴地、農業用施設等)の被害態 ④その他の侵益・経備により軽減される営業活動停止 損失及び応急対応においる費用 ○和3年4月には、それまでの「実施計画調査」段職から「建設」段職に移行し、知事権がよる登選事業として採択された。 一の後、等和4年8月には、東と水没する社がとの地権者で組織される地権者 協議会に、認確している。 「現氏・工任替益超に係る測量や設計等を進めるとともに、用地補償及び工事の 者主に向け、地元地権者協議会と協議・測整を進めるとともに、用地補償及び工事の 者主に向け、地元地権者協議会と協議・測整を進めるところであり、引き続き、計画的に事業進捗を図る。 「事業費の要化」有 「事業期間の変化」有 「事業期間の変化」有 「事業期間の変化」有 「事業のを検討している。 「事業を検討している。 「事業を検討している。 「事業を検討している。 「事業のを検討している。 「事業のを提びているところであり、引き続き、別ののでは、対している。」 「事業期間の変化」有 「事業期間の変化」有 「事業期間の変化」を表している。 「事業のを検討している。」 「事業期間の変化」を表している。 「事業を検討している。 「事業のを検討している。」 「事業期間の変化」を表している。 「事業ののでは、対している。」 「事業ののでは、対している。」 「事業ののでは、対している。」 「基議を表している。」 「表述のでは、対している。」 「表述のでは、対している。」 「表述のでは、対している。 「選択政な政権権によるなである。「選択政な政権権によるが関・水産による環境への配慮、種物の移植等)を行い、本事業による環境へ配配慮、種物の移植等) 「事業では、事業を表している。」 「事業を表している。 「事業を表している。」 「事業を表している。 「事業を表している。」 「事業を表している。 「事業を表している。」 「事業を表している。 「事業を表している。」 「事業を表している。 「事業を表している。」 「事業を表している。」 「事業を表している。 「事業を表している。」 「事業を表している。」 「事業を表している。」 「事業を表している。 「事業を表している。」 「事業を表して | | .,. | | 「治水経 | 済調査マニュ | アル(案) | 」令和6年4 | 月 国土交通 | 省水管 | 理・国土保 | 全局 | |
| ② の資金を書館 ② 2度性を被害軽減便益:整備により軽減される急性物液害額 ③ 3公共土木施設等被害軽減便益:整備により軽減される公共土木施設等 (道路、 度地、 歴史用版设等) 成書語 ④ その他の便益:施設の教育価値、整備により軽減される公共土木施設等 (道路、 度地、 歴史用版设等) 成書語 ④ その他の便益:施設の教育価値、整備により軽減される営業活動停止 損失及び命急対応にかる費用 | | | | | | | | | | | | |
| ② 豊産作物校嘉軽減便益:整備により軽減される最作物被害額 ③ 公共土体施設等複音減便産・整備により軽減される公共土体施設等 (| | | | | | "XXX III II | | WCT VOSIET | 3- 323771 | · izemico. | | |
| ②公共士木施設等 (適路、 世地、 藤葉 甲胞腺母) の被害節 (金箔、 世地、 藤葉 甲胞腺母) の被害節 (金箔、 世地、 藤葉 甲胞腺母) の被害節 (金子の他の使益: 施設の禁存価値、 整備により軽減される営業活動停止 損失及び愈急対応にかかる費用 | | | | | | | | | | | | |
| (道路、 農地、 農業用施設等) の被害額 (金子の他の便益: 施設の教育価 整備により軽減される営業活動停止 損失及び応急対応にかかる費用 | | | | | | | | | | 木施設等 | | |
| ②その他の使益:施設の関係価値、整備により軽減される営業活動停止 損失及び応急対応にかかる費用 | | | | | | | | | | | | |
| 日 | | | | 、足中、辰地、辰未内心なぜ)の秋百時 4子の他の便益:施設の残存価値、整備により軽減される党業活動停止 III | | | | | | | | |
| 再評価の | 2 | | | 損 | 失及び応急対 | 応にかかる | 費用 | | | | | |
| 評価のの | 再 | | | | | _ | | | | | | |
| ● | 評 | | | | | | | | | | | |
| の 現 | 価 | | | 令和3 | 年4月には、 | それまでの | 「実施計画部 | 調査」段階から | 5「建設 | 」段階に移 | 3行 | |
| で で で で で で で で で で で で で で で で で で で | の | (3)事業の進 | | | | | | | - ~= uX | _ , _ , _ , _ , _ , | | |
| 点 () | 視 | | | | | | | | 香者で組 | 織される地 | 牌 者 | 部 他 |
| ② ま業の進捗と 今後の見通し をお互いに確認している。 現在、主に付替道路に係る測量や設計等を進めるとともに、用地補償及び工事の 書手に向け、地元地権者協議会と協議・調整を進めているところであり、引き続 き、計画的に事業進捗を図る。 「事業費の変化」 有 無 「事業期間の変化」 有 無 「事業 「本で検討している。 「本で検討している。」 「本で検討を行い、総合的に評価を 「おった ダムとダム以外との代替案の比較・検討を行い、総合的に評価を 「おった ジャン・ダムとダム以外との代替案の比較・検討を行い、総合的に評価を 「おった ジャン・ダムとダム以外との代替案の比較・検討を行い、総合的に評価を 「おった ジャン・ダムとダム以外との代替案の比較・検討を行い、総合的に評価を 「おった ジャン・ダムとダム以外との代替案の比較・検討を行い、総合的に評価を 「おった ダムとダム以外との代替案の比較・検討を行い、総合的に評価を 「おった ダン・ダン・ダン・ダン・ダン・ダン・ダン・ダン・ダン・ダン・ダン・ダン・ダン・メート 「本のでは関係の影響の回避または低減を図る。 (選択取水設備による水質・水温に配慮した放流、低騒音・低振動型建設機械の採用による猛禽類への配慮、植物の移植等) 「東 価 理 由 」 浸水被害の軽減や流水の正常な機能の維持を図るため、事業継続が妥当と判断する。 | 点 | | | | | | | | | | | \bigcirc |
| 3 事業の進捗と 今後の見通し 事業の進捗と 今後の見通し 事業 理 価 理 由 漫水被害の軽減や流水の正常な機能の維持を図るため、事業継続が妥当と判断する。 | | | | | | | | | | | | |
| 事業の進捗と 今後の見通し | | | | | | | や設計等を進 | 越めるととも に | 二、用地 | 補償及びエ | 事の | В |
| 業 今後の見通し [事業費の変化] 有 無 [事業期間の変化] 有 無 [事業期間の変化] 有 無 | | | | 着手に向 | け、地元地権 | 者協議会と | :協議・調整を | を進めていると | こころで | あり、引き | 続 | • |
| の 進 | | | 事業の進捗と | き、計画 | 的に事業進捗 | を図る。 | | | | | | С |
| 進力 【事業期間の変化】 有 無 | | | 今後の見通し | | | | | | | | | |
| 「事業期間の変化」 有 無 一 | | | | 7 | ~ // · * | | | | | | | |
| 【事業期間の変化】 有 無 | | | | 【事業費の第 | 划 有 | (無) | | | | | | |
| 4 | | 涉 | | | | _ | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | | |
| (大 替 案 | | | | 【事業期間の変化】 有 (無) | | | | | | | | |
| (大 替 案 | | | | | | | | | | | | |
| (大 替 案 | | | | | | | | | | | | |
| (大 替 案 | | <u> </u> | | | | | | | | | | |
| コーパス | | 4 | | | | める中で、 | 新技術・新工 | 二法を活用する | る等、コ | スト縮減 | | |
| コーパス | | <u> </u> | | | | | | | | | | |
| ス替 ト 案 | | 口代 | コヘト絶滅 | | | | | | | | | |
| 大条編等 | | ス麸 | | | | | | | | | (a) b | (A) |
| 減の 可能性 | | ト案 | | | | | | | | | | ┪ᢡ┟ |
| 減の 可能性 | | 縮等 | | | | | | | | | | В |
| 可能性 | | 減の | /E ++ | 点から、 | ダムとダム以 | 外との代替 | 案の比較・様 | 食討を行い、約 | 総合的に | 評価を | 評価 | • |
| 能性 ることを確認している。 (a) b 環境影響評価の結果を踏まえ、工事期間中及びダム供用後において、必要な環境保全措置等を行い、本事業による環境への影響の回避または低減を図る。(選択取水設備による水質・水温に配慮した放流、低騒音・低振動型建設機械の採用による猛禽類への配慮、植物の移植等) 総合 評価 ● 継続 ○ 見直し継続 ○中止 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | 代 替案 | | | | 十河川改修第 | ₹」である現意 | †画案が | 最適であ | | 1 c |
| 性 3 環境影響評価の結果を踏まえ、工事期間中及びダム供用後において、必要な環境保全措置等を行い、本事業による環境への影響の回避または低減を図る。(選択取水設備による水質・水温に配慮した放流、低騒音・低振動型建設機械の採用による猛禽類への配慮、植物の移植等) 総 合 評 価 単 由 浸水被害の軽減や流水の正常な機能の維持を図るため、事業継続が妥当と判断する。 応 主 方 体 字 | | | | ることを | 確認している | 0 | | | | | (a) b | |
| 3 環境影響評価の結果を踏まえ、工事期間中及びダム供用後において、必要な環境保全措置等を行い、本事業による環境への影響の回避または低減を図る。(選択取水設備による水質・水温に配慮した放流、低騒音・低振動型建設機械の採用による猛禽類への配慮、植物の移植等) 総合評価 総合評価 総結 ○ 見直し継続 ○ 中止 ② 対応 ※ 実対 施施主方 体 | | 性 | | | | | | | | | | |
| 3 環境 配 慮 事 項 を行い、本事業による環境への影響の回避または低減を図る。(選択取水設備による水質・水温に配慮した放流、低騒音・低振動型建設機械の採用による猛禽類への配慮、植物の移植等) 総 合 評 価 単 由 浸水被害の軽減や流水の正常な機能の維持を図るため、事業継続が妥当と判断する。 応主 方 体 | | | | | | | | | | | | |
| 境 総合評価 ● 継続 ○ 見直し継続 ○ 中止 ※ 合評価 ■ 機続 ○ 見直し継続 ○ 中止 ※ 対 実 が 施 正方 体 幹 ※ ※ 字 に | | <u> </u> | | | | | | | | | | |
| 境 総合評価 ● 継続 ○ 見直し継続 ○ 中止 ※ 合評価 ■ 緩続 ○ 見直し継続 ○ 中止 ※ 学 ※ 評価理由 浸水被害の軽減や流水の正常な機能の維持を図るため、事業継続が妥当と判断する。 | | グ Imm | 和唐古塔 | | | | | | | | | |
| 総合評価 ● 継続 ○ 見直し継続 ○ 中止 ※ 合評価 ■ 継続 ○ 見直し継続 ○ 中止 事業 | | 凉 *辛 | 111 / 息 事 埧 | 温に配慮 | した放流、低 | 騒音・低振 | 動型建設機械 | 域の採用による | 5猛禽類 | への配慮、 | 植物の移 | 植等) |
| ・ 事 業 4 実 対 施 応 主 方 体 針 案 | | 児 | | | | | | | | | | |
| ・ 事 業 4 実 対 施 応 主 方 体 針 案 | | | | | | | | | | | | |
| ・ 事 業 4 実 対 施 応 主 方 体 針 案 | | 事 | <i>₩</i> Δ = π /π | | 4nu 4± | ^ | D#1 /m//+ | <u> </u> | L | | | |
| 事業 4 実対 施応主 方 体針 案 | | | 総合評価 | • | 杜允 | O | 兄旦し継続 | 0 # | ıЩ | | | |
| 4 実 対 施 応 主 方 体 針 案 評 価 理 由 浸水被害の軽減や流水の正常な機能の維持を図るため、事業継続が妥当と判断する。 | | | | | | | | | | | | |
| ^(*) | | | | | | | | | | | | |
| ^(*) | 4 | 主 | 郭 価 理 中 | 浸水被害の軽減や流水の正常な機能の維持を図るため、事業継続が妥当と判断する。 | | | | | | | | |
| 方 主 | 坟 | 施 | | | | | | | | | | |
| 力 | 心 | 计 | | | | | | | | | | |
| ^針 案 | 一方 | | | | | | | | | | | |
| ^① 備 考 | 針 | 字室 | | | | | | | | | | |
| | | \bigcirc | 備考 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |





